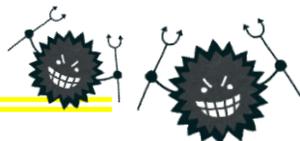


サイバー犯罪の被害は警察へ通報を

社会のデジタル化の進展に伴い、業務に関するデータをオンラインで取り扱う機会が増加する中、介護施設・事業所を標的にしたサイバー犯罪が発生しています。

ランサムウェア や 不正アクセス は 犯罪 です

ランサムウェア



「ランサムウェア」と呼ばれるコンピュータウイルスに感染すると、パソコンやサーバに保存しているデータが暗号化され使用できなくなり、データを復元する対価として金銭を要求される。

さらには、データを盗み取った上、「対価を支払わなければデータを公開する」などと金銭を要求するダブルエクストーション(二重恐喝)という手口も発生している。

不正アクセスやコンピュータウイルスによる情報漏えい

パスワード管理の甘さやシステムの脆弱性を悪用して病院のネットワークに侵入するなどの不正アクセス、業務に関連するメールを装って送付されたメールの添付ファイルを開いたことによるコンピュータウイルスへの感染等により、個人情報や機密情報が盗み取られる。

テレワーク環境を狙った攻撃も発生している。



サイバー犯罪の実態を明らかにし、被害を拡大させないためには
被害を潜在化させないことが重要です。

このような被害にあわれたら、**最寄りの警察署**へご相談ください。



警察では、サイバー犯罪に対する様々な対策を行っています

サイバー犯罪に関する
情報の分析

サイバー犯罪
事件の捜査

被害の拡大防止
再発防止

介護施設・事業所の皆様からの情報提供が
サイバー空間の安全
につながります

警察へ寄せられたサイバー犯罪に関する情報を分析し、事件捜査を行うほか、被害介護施設・事業所における対策に必要な情報の提供・助言、他の介護施設・事業所への被害拡大を防止するための注意喚起等の被害防止のための取組を行っています。



福岡県警察本部サイバー犯罪対策課

最寄りの警察署の連絡先一覧はこちら

<https://www.police.pref.fukuoka.jp/keisatsusyo/ichiran.html>

